

第2回南砺市教育振興基本計画策定委員会会議録

1. 日 時 平成26年12月3日(水) 午後2時から午後4時32分
2. 場 所 南砺市役所井波庁舎 3階301会議室
3. 出席者
 - ・委員11名
 - 水上義行 委員、長谷川総一郎 委員、村田玲子 委員、唐嶋田鶴子 委員
 - 島田勝由 委員、山本均 委員、長谷川邦子 委員、大塚保夫 委員
 - 武田和一 委員、千秋謙治 委員、名村桂子 委員
 - ・事務局7名
 - 高田勇(教育長)、豊川覚(教育部長)、酒井啓行(教育総務課長)、
 - 浦辻一成(生涯学習スポーツ課長)、山森伸正(文化・世界遺産課長)、
 - 笠井学(教育総務課副主幹)、山越哲也(教育総務課副主幹)
4. 欠席者
 - ・委員2名
 - 田中一昭 委員、土居敬生 委員
5. 傍聴人数 0名
6. 協議事項 (1) 南砺市教育振興基本計画(案)について

○開会

○挨拶

(水上委員長)

第1回策定委員会では皆さま方からいろいろなご意見をいただき、当局で再度検討をしていただきました。随分分かりやすく、趣旨では南砺らしい風情も感じられる。今日限られた時間の中で忌憚のないご意見をいただき更に良いものにしたい。

○協議事項

※各課長から説明

○閉会挨拶

(大塚副委員長)

専門的なご意見から南砺市をどうするかというご意見までいろいろなご意見をいただきました。まだ提言することがございましたら次回に出していただければと思います。

質疑・意見

委員	子どもたちの教育を取り巻く状況のところでは、疲弊的なことが書いてあり学校は何もしていないようにとられる。もう少し柔らかい表現にしてはどうか。計画の位置付けの総合計画後期基本計画に注釈がいるのでは。
事務局	世間一般に言われていることを書いている。書き方を工夫したい。
委員	全国的なことが書いてあるが、南砺市も同じなのかと思われる。
事務局	南砺市の状況を含めて書き方を検討したい。総合計画後期基本計画には注釈を付けたい。
委員	家庭や地域の教育力の問題とはどういうことなのか。
事務局	教育は学校だけでなく家庭や地域と連携しなければならない。家庭や地域の教育力も低下してきている。
委員	教育力の問題では曖昧ではないか。
委員	教育力だけでなく子どもを取り巻く環境も多様化している。
委員	学校だけの問題ではない。人口減少は日本全国の問題である。
委員	問題等の括りがおかしい。
事務局	今家庭環境は計り知れない。表現が難しい。
委員	趣旨だからこれで良いのではないか。
委員	南砺市内の校区の撤廃が出てこないが今は考えられないのか。
事務局	校区の見直しは難しい問題である。行政が率先するものではなく、保護者の皆さんからの意見を踏まえて行政が対応するほうが良い。
委員	そのことが今後問題になると匂わせておくことも一つの手である。非常に難しい問題である。五箇山でも既に行われてきている。
委員	その都度検討すると記載すれば良い。
委員	校区の変更、再編は書かないほうが良い。
委員	「文化財」と書いてあるが文化ではないのか。
委員	文化財で良い。
委員	「学力や学習意欲の低下、規範意識や社会性の希薄化、いじめや不登校」と「家庭や地域の教育力」が同じレベルでの横並びでは良くない。
事務局	問題があるという意味で記載している。
委員	「各種生涯学習講座の内容をさらに充実させ」とあるが「さらに」が必要か。
事務局	今も充実しているが「さらに」という意味で付けている。
委員	「家庭や地域の教育力」の教育力とは生涯学習では一人ひとりの生きがい・充実が考えられるが「家庭や地域の教育力を向上させ」とはどういうことか。
事務局	学校教育以外は社会教育になる。
委員	生涯学習なので教育力よりは「生きがい」、「向上心」、「充実感」のほうが良いのではないか。
事務局	前段で一般の方の生涯学習のことを述べて、家庭や地域の教育力を追加して

	<p>行っていくという考え方です。</p>
委員	<p>教育力という言葉を入れると抵抗がある。柔らかい表現にしてはどうか。</p>
委員	<p>たとえば「教え育てる」で良いのではないか。</p>
委員	<p>講演会等を通して家庭や地域が強くなる。</p>
委員	<p>学校教育の現状と課題の「人材育成の場であり、」は強い表現である。書かなくても良いのではないか。</p>
委員	<p>今までは生涯学習は学校・社会・地域が連携を深めるという表現であった。教育力は力がある言葉である。</p>
委員	<p>「市体育協会の加盟団体から全国大会等へ」とあるが総合型スポーツクラブからも出ているので、総合型スポーツクラブも入れた方が良い。</p>
委員	<p>福井県がなぜ学力・体力の面で全国トップクラスになるのか。それを考えたときに地域との関わりをどうしていくかが今後の南砺市の問題だ。その面で見直していただきたい。</p>
委員	<p>基本理念で「未来を切り拓く南砺の人づくり」とあるが一人ひとりが自分の個性を持って輝ける人を育成するような言葉にならないか。</p>
委員	<p>一人ひとりが主人公という意味で作られているのでこれで良い。</p>
委員	<p>子どもたちの力が引きだせる環境をつくるような言葉にならないか。</p>
委員	<p>それは手段で、その結果未来を拓くことになる。</p>
委員	<p>南砺市を打ち出していないといけないのでこの表現で良い。</p>
委員	<p>6ページの「1日当たりの勉強時間」とあるが「学習時間」とどう違うのか。</p>
事務局	<p>質問が「勉強時間」となっている。見直します。</p>
委員	<p>「小中連携型教育」「小中一貫教育」に注釈がいるのでは。注釈はそのページの下に載せてはどうか。</p>
事務局	<p>検討します。</p>
委員	<p>10ページに「アンケート」と書いてあるが年度の初めに予告しているのか。</p>
事務局	<p>いじめのアンケートは学期ごとに、SNSアンケートは新たに実施する。</p>
委員	<p>いろいろなアンケートがあるが年間の予定を学校に知らせてほしい。</p>
委員	<p>学校ではアンケートの整理に負担がかかるのでPTA・地域と連携してはどうか。</p>
委員	<p>7ページの幼保小連携のところですが「小学校へ出向き」とあるが学校の先生も保育所や幼稚園に行くことがあるので書く必要があるのか。</p>
委員	<p>実際、保育士が小学校へ行ったり、先生が保育所に来たりしている。</p>
事務局	<p>表現を変えてみる。</p>
委員	<p>市内の市立図書館は子ども向けのコーナーが充実している。学校の図書館と市立の図書館が今後どのように関われば良いのか記載してほしい。開架率は日によって違うが福野・福光は開架率が高い。それぞれの図書館に個性のあるものを集めてほしい。図書館同士は連携してほしい。高齢者大学の企画を良いものをお願いしたい。地元講師の発掘が大事である。</p>

委員	図書館の充実、学校図書館と市立図書館の連携を記載してほしい
委員	住記カードで本の予約ができることも記載し、ピーアールすれば良いのでは。
委員	地域にはたくさん講師になっていただける方がいる。きめ細かく講師の一覧表を作成してほしい。公民館活動への支援では公民館の職員の資質向上に限られているが、地域の方の活動を支援していただければありがたい。
委員	南砺市の独立した公民館にはたくさんの方が集まるが独立していない公民館には居場所がないので行きづらいので何か考えてほしい。公民館の役割は学校と同じくらい大きい。地域にばらつきがあるのが問題だ。
委員	北野公民館はすばらしい活動をしている。先進事例を皆さんに紹介してはどうか。
事務局	公民館活動への支援としたのは、今現在公民館の関係の方が自主的に活発に活動をしていただいている。教育委員会はそれを支援している立場で書いた。主な取組みでも教育委員会が何をするかといえばこれしか書けない。限定的な書き方になった。
委員	公民館は地域の特色がでる。ただし市から見たら避難所になっている。いろいろなことで公民館を使うことが公民館に避難したときに戸惑わないことになる。いろいろな世代の人が集まる機会を作るのが大事だと思う。
事務局	合併のときにあった地域の公民館を市の公民館に移行したことからばらつきがある。ソフト面で平等にした。箱物が地域で違うが簡単な課題ではない。
委員	24ページの数値目標の実績値と目標値に具体的な名前は書けないのか。
事務局	改修が出来ないといってしまうことになるので記載は難しい。
委員	「文化芸術」と「芸術文化」が混在しているのはなぜか。
事務局	芸術文化が一般的で、近年文化庁では文化芸術を使っている。
委員	言葉は統一出来ないのか。
委員	芸術文化は広い概念、文化芸術は狭い概念。これはこれで良い。
委員	茅を増産している写真を見たので計画書に使われてはどうか。
事務局	検討します。
委員	世界遺産の価値を高めるには調査研究していかなければならない。古文書を調査研究する施設がない。研究機関を設置してほしい。
委員	歴史は郷土愛に繋がる原点で非常に大事だと思う。
委員	南砺市をピーアールしたものが俳句や短歌にない。南砺市のパンフレットには文化の香りが無い。この計画もぜひ考えていただきたい。子どもたちに情緒が深まる情操教育に目を向けてほしい。
委員	子どもたちに見る目を養う経験が大事である。学校の先生は子どもたちに地域力をつけさせてほしい。
委員	計画には調査研究は盛り込んである。